

参加
無料

主催
一般社団法人
日本美術教育学会

制作 STAFF
高林未央・
石川和代

美術教育オンライン連続セミナー

○ZOOMによるリアルタイムオンライン形式で行います。
○6つの講座の内、どの講座をいくつ受講しても構いません。
○申し込みの締め切りは、各講座の前日です。



申し込みは
こちらから

2025
11/9
日
13:00~

堤 祥晃

北海道教育大学附属釧路義務教育学校
後期課程 教諭

授業づくりのベースにあるもの

美術は他の教科と比べて自由度が高く、内容に高い教員に委ねられている割合が非常に多い授業です。そこが最大の醍醐味でもあり、悩ましい部分でもあります。皆さんは授業を考える際にどんなことを大切にしていますか？

きつと様々な意見があると思います。今回「思い」に越えながら私の授業実践を紹介いたします。美術教師が抱えるジレンマや葛藤も交えながら皆様と交流できればと思います。

司会：吉川暢子（香川大学）

美術教育実践紹介
発表 40分+
質疑応答 20分

2025
12/21
日
13:00~

堀 祥子

名古屋大学児童教育学部 教授

商店街での「おしゃべりする」活動から「アートへの気づきの瞬間」をサーチする

居住する地域にある岐阜市・柳ヶ瀬商店街。そこでのまちあるき活動やコロナ禍をきっかけに始めたシェアアトリエでの活動と、そこから広がる、クリエイティブな生業人たちが商店街店主ら、来訪客との交流、そして生成 AI（ローコード界限）の情報交換会など、直径 670m（大阪万博の大屋根リング参照）の円（緑）の中で繰り広げられる日常のおしゃべりから、私は研究の種を得てこの数年活動しています。大学から少しはみ出すだけで「アートへの気づきの瞬間」に出会う面白さについてお話しします。

司会：吉川暢子（香川大学）

学術研究紹介
発表 20分+
ディスカッション 30分+
質疑応答 10分

2026
1/25
日
19:00~

野網 学

大阪総合保育大学
大学院児童保育研究科
博士後期課程 /
大阪教育大学附属池田小学校 教諭

発達段階に応じた美術鑑賞学習の指導法—幼児期から小学校高学年までの実践的提案—

幼稚園の年長児から小学校 6 年生までの美術鑑賞学習について、発達段階に応じた具体的な指導法を提案します。導出した「感受」「観察」「分析」の美術鑑賞の発達理論に基づき、各学年で効果的な美術鑑賞学習を示します。主に 5 歳児の『さぶーん！わたしの波、北斎さんの波』、低学年の『造形遊びから誘う《神奈川沖浪裏》』、高学年の『探究サイクルを軸にした《富嶽三十六景》カリキュラム開発』の実践を紹介します。その有効性について語り

司会：中川泰（長崎大学）

若手研究者紹介
発表 20分+
ディスカッション 30分
質疑応答 10分

2025
11/30
日
19:00~

島口 直弥

浜松市教育委員会・浜松市美術館
指導主事兼学芸員

ホトケにまつわるエトセトラ

美術教育実践紹介
発表 40分+
質疑応答 20分

2026
2/26
木
19:00~

すがや みつる

マンガ家 /
元京都精華大学マンガ学部教授 /
日本マンガ学会会長

生成 AI 時代のマンガ教育と美術教育

いま、マンガ業界においても生成 AI を積極的に使う人が増えている反面、生成 AI に対し激しい拒否感を示す人も少なくない。生成 AI に対する拒否感、なぜ起きるのか？ その理由を教育工学の側面から探りながら、生成 AI 時代のマンガ教育や美術教育について提言してみたい。

司会：清田哲男（岡山大学）

特別セミナー
発表 30分+
ディスカッション 20分
質疑応答 10分

2026
2/10
火
19:00~

木村 仁

滋賀大学教育学部附属
小学校 教諭

図画工作科における子供の身体性と動作への探究との関係についての研究

図画工作科における「ものの動き」の学びを、子供の身体的アプローチから探究する研究です。風と素材の予測せぬ相互作用を通じ、内発的動機づけや創造性を育む実践を報告します。これからの時代に求められる、身体性に基いた感性や、自ら学ぶ力を育むための新たな視点について、皆様と交流ができれば幸いです。

司会：馬淵哲（滋賀大学）

若手研究者紹介
発表 20分+
ディスカッション 30分+
質疑応答 10分

○参加者希望者は学会フォームで申し込みを行い、ミーティング招待を受けます。
○申し込みは、<https://x.gd/ZyxHp> または上の QR コードからお申し込みください。
○本件のお問い合わせは、日本美術教育学会 onlinrseminar@aesj.org（担当：清田哲男）まで。